

令和4年(2022年)8月15日

れきみん

資料館だより

No. III-37

相生市立歴史民俗資料館

〈資料紹介25〉三濃山求福教寺の鰐口と大嶋秀輔

〈三濃山求福教寺の鰐口〉

三濃山求福教寺(相生市野町)の観音堂(本堂)正面軒先に、一口の鰐口が掛け吊るされています[写真1]。鰐口とは、仏堂の前に掛け吊るし綱で打ち鳴らす金属製の道具です。円形・中空で、下方は横長の口が開いています。

紹介する資料は径約41cmを測り、向かって右側銘帯に「播磨赤穂郡」、同内区に「三野山求福教寺」、左側銘帯に「慶應四戊辰年三月日」、同内区に「勅許御鑄物師 大嶋秀輔」の銘が刻まれています。「慶應四戊辰年」(1868年)は本尊(千手観世音菩薩像)の本開帳の年に当たり、鰐口はその記念に奉納されたものと考えられています。(小林1963)。また、鑄造・製作したのは「大嶋秀輔」であることは銘から明らかです。



写真1 三濃山求福教寺の鰐口(正面下方から) 左右に銘が刻まれている

〈勅許御鑄物師 大嶋秀輔〉

大嶋秀輔は雲火焼で有名な大嶋黄谷の兄で、幕末から明治初期にかけて赤穂郡加里屋村(現赤穂市)を拠点に鑄物師として活躍しました。

祖父で寺子屋を営んでいた万助(初代左衛門)は、赤穂郡高田中野村(現赤穂郡上郡町)の鑄物師・中井幸右衛門久次に鑄物の技術を習いました。長男の2代目栄左衛門(秀輔・黄谷の父)が後を継ぎ、文政12年(1821)に、幕末まで全国の鑄物師を統括していた公家の真継家から鑄物師職許状を得ています。

秀輔も弟の九郎次(黄谷)とともに赤穂郡高田村の中井定四郎から鑄物技術を学びました。「藤原直照」を名乗り、寺院の鐘などを鑄造しました。文久4年(1864)には、真継家から鑄物師職許状を得て勅許御鑄物師となりました(以上、木曾ほか2004)。

〈大嶋秀輔の作品〉

文献などから、秀輔が鑄造した作品として以下のものが知られていますが、多くが先の大戦で供出され失われました(太字は現存)。

- | | | |
|------------------------|--------------|------------------|
| ① 長専寺梵鐘 [相生市池之内] | 寛保2 (1742) | 文献: 小林 1963 |
| 棟梁職は父の栄佐衛門(藤原征武)、秀輔は冶工 | | |
| ② 明顕寺梵鐘 [相生市陸本町] | 天保13年 (1842) | 文献: 小林 1963 |
| 棟梁職は父の栄佐衛門(藤原征武)、秀輔は冶工 | | |
| ③ 明顕寺半鐘 [相生市陸本町] | 天保13年 (1842) | 中濱実見 |
| ④ 円覚寺梵鐘 [たつの市龍野町本町] | 弘化2年 (1845) | 文献: 坪井 1964 |
| ⑤ 真光寺半鐘 [赤穂市塩屋] | 弘化3年 (1846) | 文献: 木曾ほか 1964 |
| ⑥ 由加神社神馬像 [倉敷市児島由加] | 万延元年 (1860) | 文献: 木曾ほか 1964 |
| ⑦ 教証寺梵鐘 [相生市若狭野町雨内] | 慶應2年 (1866) | 文献: 小林 1963 |
| ⑧ 明専寺半鐘 [相生市矢野町下田] | 慶應4年 (1868) | 文献: 小林 1963、中濱実見 |
| ⑨ 求福教寺鰐口 [相生市矢野町三濃山] | 慶應4年 (1868) | 文献: 小林 1963、中濱実見 |



写真2 ③の明顕寺半鐘の銘



写真3 ⑧の明専寺半鐘の銘

求福教寺鰐口の他に現存する作品として、③明顕寺半鐘と⑧明専寺半鐘があります。③には「天保十三寅星三月日 勅許鑄物師 赤穂住 大嶋秀輔 藤原直照」、⑧には「慶應四戊辰年 二月吉日」「勅許御鑄物師 赤穂住 大嶋直照」の銘が刻まれています[写真2・3]。鰐口・半鐘などの小型品は供出を免れることがあったようで、秀輔の作品がまだ他にも存在する可能性もあります。今後、さらに地域を広げて調査を進めたいと考えています。

また、8.15を迎えるにあたって、戦争によって多くの文化財が失われたという歴史も忘れずにいたいものです。

〈註〉

- * ①について、小林は「寛保二歳」と記すが(小林 1963)、秀輔の活躍期間と合致しない。
- * ⑦について、木曾らは半鐘としているが(木曾ほか 2004、藤田・三木ほか 2021)、小林は「総丈四尺三寸」の大鐘と記す。正徳元年(1711)鑄造の半鐘が現存しており、秀輔の作品は供出された梵鐘(大鐘)とみられる。
- * ⑧について、木曾らは供出によって現存しないとしている(木曾ほか 2004、藤田・三木ほか 2021)。

〈引用・参考文献〉

- 片山昭悟 2000 『宍粟郡の梵鐘 播磨国宍粟郡金谷村鑄物師長谷川氏を中心にして』(私家版)
- 木曾こころほか 2004 『没後100年記念 企画展 大嶋黄谷』(赤穂市立美術工芸館 田淵記念館)
- 小林楓村 1963 『相生史話』(西播史談会)
- 坪井良平 1964 「徳川期における播・但両国の鑄物師-主として直島製煉所の資料による-」『兵庫史学』(兵庫史学会)
- 藤田忠彦・三木千種ほか 2021 『令和3年度 特別展図録 大嶋黄谷生誕200年記念展』(赤穂市立美術工芸館 田淵記念館)
- * 木曾こころ・藤田忠彦・義則敏彦の各氏より有益なご教示をいただきました。記して感謝申し上げます。

(中濱久喜)